

2 仮説2【体験活動を道德の授業につなぐ工夫】に関する研究

(1) 体験活動を道德の授業につなぐ工夫～みふねっこの学習過程～

本校では、体験活動を道德の授業につなぐ工夫として【資料6】のような「みふねっこの学習過程」を作成した。

特に「ふかめる段階」では、問題意識を高めるような発問をすることで、児童の学ぶ意欲を高めた。また、道德的価値に迫るような中心発問では、登場人物の心情だけを繰り返し問うような発問をするのではなく、児童が多角的・多面的に考えられるような発問の工夫をした。また、中心発問で終わるのではなく、「道德性をより高める発問」を加えることで、児童の考えがより深まった。

導 入	み と お す	道德的価値につなぐ段階 日常生活を見つめ道德的価値につなぐ工夫 ★写真の活用 ★アンケートの活用 ★体験活動(資料に関わる体験等) ★資料の活用
展 開	ふ か め る あ げ る	道德的価値に迫る段階 問題意識を持たせる発問 ★心に残ったことや、もっと知りたいことはありませんか。 道德的価値に迫る発問(中心発問) ★なぜ〇〇でしょう。 ★〇〇は、どんな心があったから〇〇したのでしょいか。 ★あなたならどうしますか。理由や結果も考えよう。 道德性をより高める発問 ★〇〇には、どんな意味があったのでしょうか。 ★〇〇(道德的価値)とはどんなことでしょうか。 ★特に、〇〇を支えていた心とは、何だろう。 自分を見つめさせる発問 ★みなさんは、〇〇したことがありますか。そのときの気持ちを考えましょう。
終 末	つ な ぐ	道德的実践意欲を高める段階 道德的実践意欲を高める工夫 ★GTの活用 ★手紙 ★詩 ★日記 ★道德ノート ★わたしたちの道德

【資料6 みふねっこの学習過程】

(2) 学習過程における工夫について

ア 導入の工夫～みとおす過程～

①写真の活用 【1年「がっこうのようむしゅじさん」(親切)】



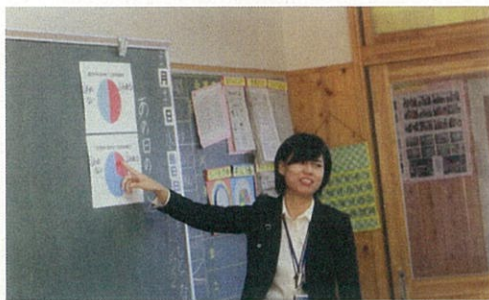
【資料7 導入で写真を見ている児童】

児童の生活は、周囲の多くの人々に支えられている。しかし、日常生活を当たり前と感じている児童が、その支えに気づくことは難しい。そこで、導入において校内の写真数枚を示し「何か気づくことはないかな。」と問いかけた。

日頃、綺麗に清掃された昇降口や手入れの行き届いた花壇を見ながら、「とってもきれいだな。誰がやっているのだろう。」という疑問がわいた。

身近な写真を活用したことで児童は引きつけられ、問題意識を共有することができた。

②アンケートの活用 【3年「あの日のこと」(感謝)】



【資料8 アンケート結果をグラフで提示】

自分は「感謝している」つもりでも、相手にはその気持ちが十分伝わっていない場合がある。そこで導入において、児童や保護者にとってアンケート結果を円グラフで示した。円グラフを見ることで、自分たちは、「ありがとう」と言っているつもりだったが、身のまわりの感謝する場面に気づいていなかったり、感謝の言葉が伝わっていなかったりしている

ことに気づくことができた。導入では、「ありがとうと言っているつもりなのに、どうしてだろう。」というつぶやきが聞こえ、問題意識を高めることができた。

③資料に関する導入 【2年「くまくんのたからもの」(親切)】



【資料9 自分の宝物を発言する児童】

資料を読む前に「みんなに宝物はありますか？」と問いかけた。恐竜の化石や家族などの意見がでた。宝物は、「みんなにとって大切なものである」という共通認識を持って資料に入ることができた。

自分の宝物を考えたことで、展開時にくまくんが自分の宝物を捨ててまで、ねずみくんを救った気持ちをしっかり考えることができた。

イ 展開の工夫～ふかめる・ねりあげる過程～

①問題意識を高め、道徳的価値に迫る発問の工夫

【6年「図書館員のなやみ」(規則尊重)】

学 習 活 動	児 童 の 反 応
(中心発問) あなたなら、どのようにしますか。 A：本をカウンター内に保管して手続きをしてもらう。 B：だれでも自由に手に取れるよう本棚にもどす。 (より道徳性を高める発問) あなたなら、どちらの図書館を利用したいですか。そのために必要なことは何ですか。	○Aにする。被害が減るし、ルールを守らない人があるから。 ○Bがいい。みんなが困るし、利用客に失礼だから。 ○お客さんの笑顔とルールを守る人を増やしたいのでBにした。 ○Aの図書館を利用したい。自由に本が読めるし、利用しやすいから。 ○どちらも、本を利用するみんなのことを考えている。
 【資料10 授業風景】	

選択式の中心発問にしたことによって、児童が自分の考えを持ちやすく、多様な意見を引き出すことができた。また、意見は違っても、利用者みんなのため、本を大切にするためという考えは同じであることに気付かせることができた。

【3年「心と心のあく手」(親切・思いやり)】

学 習 活 動	児 童 の 反 応
(中心発問) はやと君は、一生懸命歩いているおばあさんの姿を見たとき、どんな行動を取るでしょう。その理由や結果も考えてみましょう。 (より道徳性を高める発問) 後ろをついていった行動が、なぜ本当の親切と言えるのでしょうか。	○家に急いだ。用事があるし、前に断られたから。→後悔する。 ○荷物を持ってあげた。おばあさんが心配だから。→役に立った。 ○いっしょに歩いた。ほうつてはおけないから。→すぐ助けられる。 ○おばあさんの気持ちを大事にしている。
 【資料11 授業風景】	

中心発問で、多様な意見交換ができたことで、多面的に考えることができた。また、自分の経験と重ねたり、他の意見と比較したりしながら学習を進めることができた。それが、より高い道徳的価値に共感し、考えを深めることに繋がった。

ウ 終末の工夫 ～つなぐ過程～

①感謝を伝える体験を入れた GT の活用 【「がっこうのようむしゅじさん」(感謝)】



【資料12 感謝を伝える体験】

本資料で主人公は、用務主事さんとの出会いにより、自分たちのために働いている人に感謝の気持ちを高めていった。「御船小には似ている人はいないかな。」と問いかけると、子どもたちは日頃お世話になっている人に気づき、その思いを「ありがとうカード」に熱心に書いた。本授業の終末には、実際に本校の用務主事さん

に話をしてもらい、カードを手渡しする活動を行った。児童は、感謝の気持ちを笑顔で伝えた。

②児童のよさを認め、ほめ、はげますGTを活用 【「心と心のあく手」(親切・思いやり)】



【資料13 校長先生の説話】

本授業の終末では、GTとして校長先生に説話をお願いした。地震後の子どもたちの様々な活動（避難所への花植え、1年生を励ます活動など）について触れられ、そのよさや頑張り、周りの人々へ伝わった温かな気持ちなどについて話してもらった。最後には、県外から届いたメッセージカードのプレゼントもあり、

「ありがとうの気持ちがこれからも広がっていくといいね。」という言葉で授業を終えた。教室がぽかぽかした温かい雰囲気にも包まれた。

③ 詩の活用 【「二わのことり」(友情)】

友だちパワー 「心豊かに、共に生きる」から
ともだちからもらった うれしいことば。
ともだちパワーだ。
ともだちパワーをあつめると、
どんなときでもがんばれる。
てつぼうで「こうやってやるんだよ」って
おしえてもらった。
のぼりぼうで、みんなが
「がんばれ。」って、おうえんしてくれた。
ごむとびで、「あと、もうちょっとだね。」って
ほめてくれた。
ともだちパワーって、うれしいな。

【資料14 詩「友だちパワー」】

本資料では、みそさざいという鳥の行動から友だちを思う気持ちについて学習した。そして「今まで友だちからもらったうれしい言葉（友だちパワー）を集めよう」と問いかけ、「上手だね。」や「頑張ってるね。」などの言葉を集めた。最後に「友だちパワー」の詩を紹介し、「これからは友だちパワーをたくさん集めようね。」と言葉をかけ、授業を終え、日常生活につないだ。

(3) 授業実践

ア 低学年の取組 【第2学年「くまくんのたからもの」(親切)】

①めあて

ねずみくんを助けたくまくんの気持ちを共感的にとらえ、幼い子や友達に温かい心で接し、思いやりの心を持って親切にしようとする心情を育てる。

②実践

みふねっこ 学習過程	体験活動を生かした学習活動 (教師の発問・指示・児童の反応)	かがやき支援 (体験活動とつなぐ支援)
みとめる 資料へつなぐ 発問	1 友だちの宝物を知る。 今日は先生やみんなの宝物を紹介したいと思います。どんな宝物があるかな。 いつも支えてくれている家族が宝物です。  【資料1.5】	体験とつなぐ 自分の宝物について思い起こさせることで、資料への方向付けをする。
ふかめる 問題意識を 高める発問 ねらいとする 道徳的価値 に迫る発問	2 資料を聞き、話し合う。 心に残ったことはありませんか。 ・穴に落ちたねずみくんが助かって良かった。 ・宝物を捨てて、ねずみくんを助けたくまくんはすごい。 カバンが宝物でいっぱいになった時、くまくんはどんな気持ちでしたか。 ・うれしいな、もっと集めよう。 ・大切にしよう。 「ええい。」と言って思いっきりカバンを逆さまにした時、くまくんはどんな気持ちでしたか。 くまくんは、大切な宝物を捨てる時にもったいない気持ちがあると思うな。でもねずみくんを助けたい気持ちもあると思うな。  【資料1.6】	体験とつなぐ 宝物を捨てるということがいかに大変なことか体験と重ねさせる。
ねりあげる 自分を見つ めさせる発問	3 今までの自分を振り返る。 今までに、親切にしたり、されたりしたことで心に残っていることはありませんか。 ・友だちから机を運ぶのを手伝ってもらいました。嬉しかったです。 先生は、友だちが給食をこぼした時に一緒に雑巾で拭いた様子を見ましたよ。  【資料1.7】	体験とつなぐ 自分を見つめる場面では、児童が進んで親切にしている様子の写真を提示する。 写真を活用することで、何を振り返れば良いか糸口が見つかり「自分にもある。」と、意欲的に自分自身を見つめることができた。実践意欲が高まった。
つなぐ 道徳的実践 意欲を高め る工夫	4 友だちの日記を聞く。 今日は、クラスの人々の日記を紹介します。目と耳と心でしっかり聞きましょう。 ・親切にしたり、されたりすると心がぽかぽかになるな。 ・親切をもっとたくさんしたくなったな。	